

予算審査特別委員会

日 時 令和8年3月13日（金）

9：00～10：21

場 所 議場

出席者 議長、副議長、議員7名（欠席：なし）（傍聴者：なし）

説明員 なし

書 記 長崎局長、倉光書記

○櫃田委員長 予算審査特別委員会を開会いたします。

本会議の予算関係フォルダーの中に正誤表と直した資料が新たに登録されておりますので、御確認ください。

本日は、昨日の追加聞き取りによって1件の審査意見が提出されましたので、これについてまず、上げるかどうかから行いたいと思います。

それでは、読み上げます。農林課、農業後継者育成対策事業。産業振興センター委託料において、担い手の育成・確保の新たな取組や有機農業の推進を担う農業人材コーディネーターの採用予算が計上されている。しかし、当初想定した人材確保できていないことから、林業アカデミー教諭として予算計上されていた職員を配置転換したいとの説明であった。事業の目的や役割を踏まえると、この対応は必ずしも適切な人材配置とは言い難く、安易な雇用となることを懸念する。担い手対策は、本町農業の将来を左右する重要施策であることから、事業目的に合致した人材確保と体制整備を強く求める。

これについて、提出者から説明を求めます。

近藤仁志委員。

○近藤委員 すみません。今、委員長のほうから読み上げていただきましたが、これがここに、自分の言いたいことが詰まっているということで、要するに、このたびの説明において、農林課の説明において農業人材コーディネーターがなかなか確保できないということで、産業振興センター委託料の中の林業アカデミーのほうの教諭で、もう予算計上してある方をこちらのほうに、何か横滑りさせたいという説明がありました。それが果たして正しいのか正しくないか、そういったことを自分としては提案して担当課のほうにいろいろ検討願いたいという思いを込めて提案しました。

○櫃田委員長 それでは、これを上げるかどうか、これを上げるべきと考える委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○櫃田委員長 全員。では、これは上げるということで決定いたしました。

文言についてはどうでしょうか。

岩崎昭男委員。

○岩崎委員 ちょっと細かいことになるかもしれませんが、農業人材コーディネーターの採用とありますけれども、提出いただきましたこの積算表、こちらのほうには職員給料という課目が設定してありますので、職員給料予算が、というふうにしたほうがよいんじゃないでしょうか。

○櫃田委員長 農業人材コーディネーターの職員給与予算ということでしょうか。（「職員給料」と呼ぶ者あり）職員給料予算。

そのほかはございませんか。

山本芳昭議長。

○山本議長 あまり発言は控えなければいけないとは思いますが、一つ気になるところがございまして、下から３番目３行目の途中、この対応は必ずしも適切な人材配置とは言い難くというところでございます。ちょっと私の読み方がおかしいのかも分かりませんが、こういう書き方をすると、この対象となっておられる方が、この能力が逆に言えば農業のほうに向いている可能性もあるわけですし、能力を否定するような書き方に読めることもあるのではないかなと思うので、このところ、この対応は必ずしも適切な人材配置とは言い難くを削除し、前段の役割を踏まえると安易な雇用となることを懸念するという形でも意味は通じるのではないかなあというふうに思っておりますが、いかがでしょうか。

○櫃田委員長 いかがでしょうか。

荒木博委員。

○荒木委員 先ほど指摘のあったその後の、安易な雇用となることを懸念する、これも懸念するというのあってもいいようなないような、これも削除してもいいような気がするんですが、どうでしょうかね。

○櫃田委員長 委員の皆さん、いかがでしょうか。

近藤仁志委員。

○近藤委員 あのですね、要するに、人がいないからどこからそこにあてがうという、

本当安易な発想の、自分は感じたわけなんです、説明聞いて。本当の目的に照らし合わせて、その適任のある人を時間をかけてでも、本当、採用すべきではないかということです。ただ人の枠を埋めるための雇用というのは、将来においてやはり問題を残すんではないかということでこういう表現をしています。

○櫃田委員長 荒木博委員。

○荒木委員 いや、例えばこの人を選ぶときに本当に安易に適当にとか、そういうような感じで計画したわけではないというふうに私は思いますけどね。熟慮して、じゃないんでしょうかね。ですから、このところは削除してもいいんじゃないかと再度思います、いかがでしょうか。

○櫃田委員長 近藤仁志委員。

○近藤委員 熟慮してあれしたら、何で林業アカデミーに採用されている教授、教諭を、もうそこで採用しているというあれなんですよ。その人を、コーディネーターが人がいないので、林業アカデミーの教諭とか先生が3人4人おられたので、その人をこっちに回してもいいではないかというような、何かそういった説明に私は取れたので、そういった発想はちょっと危ないですよということです。明らかに私からしたら、皆さん方に任せますけど、安易な発想であったと私は思っております。

○櫃田委員長 岩崎昭男委員。

○岩崎委員 ちょっと、話が逆に今度、膨らんでしまうんですけれども、では、林業アカデミーのほうの1人足りなくなった教諭、これをどうするのか。やっぱりそこまでちょっと突っ込ん、ちょっとなかなか文章としてまとめるのが複雑になるかとは思うんですけれども、やはり、ですからそういう意味でいくと、林業アカデミーの職員の体制をもっと精査すべきであるというような、必要な人を、このままいってしまうと林業アカデミーの教諭1人減と、当初の予算から考えるとそういうふうになりますんで、そこら辺りのことも一言加えた方がいいんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。

○櫃田委員長 具体的な表現はありますか。

○岩崎委員 いや、それはちょっと今よう思いつかんですけど。委員長一任でいいです。

○櫃田委員長 この安易な雇用についてはどうでしょうか。提案者は強い思いがあるようですけども。（発言する者あり）

では、先ほど岩崎委員から発言のありました、この林業アカデミーが少しマイナスになる、1人減るという表現、職員が、これについては新たに加えるのかどうか、これについ

てはいかがでしょうか。このままでいいのか、それとも新たに加えるのか。

岩崎昭男委員。

○岩崎委員 結局、トータルの予算とすれば、別にこの予算を例えば通すとすれば、枠はあるわけなんですよね。ですから、林業アカデミーの教諭が農業の担当になった場合、林業のほうでまた新たに採用するというのがあるのかもしれませんけどもね。そこら辺りのちょっと説明は担当課からなかったの、ただ単純に林業アカデミーの職員から農業のほうに横滑りをさせるという話だけだったんで、トータル的には2人分の予算はあるわけなんですもんね。どうかなということです。すみません。以上です。

○櫃田委員長 それで、結論は。

○岩崎委員 結論は皆さんにお任せします。

○櫃田委員長 大西保委員。

○大西委員 例えば2つのコーディネーターということで、トータルの予算は予算で計上されとるわけですけども、私ちょっと別の考え方がありまして、やっぱり適材適所というのか、主体は林業アカデミー、こちら主体は農業と。それが両方とも交互できるような形というのは、物すごくフレキシブルな対応できるような形を考えれば、いや、この人、あなたはもう林業のほうに行ったら、1時間でも2時間でもしたら、これ給料は違うよ、じゃなしに、私はやっぱり、これもう両方とも対応できる内容は共通点があると思うんですね、林業も農業も。そうしたら主体は林業だけど、この方主体は農業ですけども、でも、そういった振興センター全体で考えると、その辺の適材適所というんですか、それは多少重なってもいいんじゃないかなと。いや、あなたは給料はこっちのアカデミーだと、こちらは農業だというんじゃないしに、ある程度柔軟な対応されて、予算の枠内ではどうかなと、私ちょっといろいろ話を聞いておってそんな感じを受けたわけです。確かに、提出者の意見分かりますが、予算の計上そんなに安易にこっちに変えてるかも分かりませんが、トータル見れば、こういった林業、農業の教育と先生ということで、主体は林業だけど、こちらは農業は主体だけど多少、両方とも共通点があると思う場合は行ってもいいよと、あくまで教育なんで、その辺の柔軟な対応も考慮すべきかなという感じはしますが、いかがでしょうか。

○櫃田委員長 近藤仁志委員。

○近藤委員 先ほどの意見に対してですが、このたびこういった新規な職種として採用を2人決めておられます、もう1人コーディネーターと、要するに直販とか販売のほうに力

を。これはやっぱり町としての方向性の確立というか、町長の農業のこういったことに力を入れたいという思いからでありますので、やっぱり専門職でもいいわけ、とは思いますが、まだこの配置転換したいという農林課長の説明、それも考えてるというようなあれだったように思います。必ずしもするというような発言でもなかったようですので、今後、この林業アカデミー教諭の不足が生じた場合には、そちらのほうで対応されるかもしれませんし、また、こちらのほうでこの農業人材コーディネーターが採用される動きもあるのかもしれませんし、そういった含みも持たせて、このたび、文章的にも長くなるし説明が大変難しくなると思っていますので、林業アカデミーのことは置いといてもいいじゃないかと、ちょっと若干思います。後は、委員長が判断いただければと思います。

○櫃田委員長 岩崎昭男委員。

○岩崎委員 非常にいろんな捉え方ができるということで、やはり一番いいのは、再度農林課からこのことについて、やっぱりどうも取り方によって意見が変わってきますよね、それぞれね。もうちょっと、担当課の意見を再度確認をするというのはいかがでしょうか。想像でちょっと物を言うようなことってのはどうかなと思ひまして、提案なんですけど。ちょっと担当課の時間的な問題もあるんかもしれませんけども。

○櫃田委員長 それでは、ここで暫時休憩といたします。（発言する者あり）

委員の皆さん、どうでしょうか。

近藤仁志委員。

○近藤委員 私、その聞き取りのときに、ほかにもそういった事例があるんじゃないかということも指摘しました、安易な雇用につながってる面が。私、そういったことも経験いかな、ちょっと憤慨した点もありまして。だけど、やはりこの安易な雇用というのは、やはり今後、日南町の職員募集する上においては、やはり目的に沿った雇用になるべきだと思いますので、皆さん方がこの聞き取りが不足したという思いなら否定はしませんけど、私は聞き取りはもういいではないかと、この意見書として皆さんでまとめて出されることでよいと思います。

○櫃田委員長 そのほか意見ございせんか。

では、聞き取りは必要ないということでもよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

分かりました。文言、先ほどの文言はこれでよろしいですか。（発言する者あり）

ええ、そうなんです。

山本芳昭議長。

○山本議長 提案者の気持ちは私も大変同感でございまして、おっしゃりたいところはこの下から2行のどこ、3行目もありますか、安易な雇用となることを懸念するということと、担い手対策は本町農業の将来を左右する重要施策であることから、事業目的に合致した人材確保と体制整備を強く求めるということ、これは本当に皆さんも賛同されることだと思います。ですから、安易な雇用になることを懸念するのは、私は残すべき重要な思いだというふうに思っております。先ほど、文言の訂正とかありましたので、それを委員長が整えられて、再度皆さんに提案をされて確認をされればいかがかと思います。

○櫃田委員長 よろしいでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）

それでは、ここで暫時休憩いたします。再開を9時30分といたします。（「45分ぐらい」と呼ぶ者あり）

では、9時45分といたします。

〔休 憩〕

○櫃田委員長 予算審査特別委員会総括を再開します。

先ほどの文言を修正しましたので、ちょっと読み上げます。産業振興センター委託料において、担い手の育成確保の新たな取組や有機農業の推進を担う農業人材コーディネーターの職員給料予算が計上されている。しかし、人材が確保できていないことから、林業アカデミー教諭を配置転換したいとの説明であった。事業の目的や役割を踏まえると、安易な雇用となることを懸念する。担い手対策は本町農業の将来を左右する重要施策であることから、事業目的に合致した人材確保と体制整備を強く求める。いかがでしょうか。

大西保委員。

○大西委員 基本的にこれでいいと思います。それで、ちょっと私、皆さんの感覚が違ったりするかも分かりませんが、2行目のところです。「の」の使い方なんですけど、コーディネーターの職員給料予算がというところなんですけど、私は、コーディネーター職員給料の予算が計上されてる、「の」の位置のが違うだけなんですけども、どうかなと思いますが、駄目だったら却下していただいて結構です。

○櫃田委員長 これについていかがでしょうか。

○大西委員 「の」の位置だけ。給料の予算が計上されている。給料予算の。

○櫃田委員長 山本芳昭議長。

○山本議長 今、大西委員言われたところのその続きです。計上されて、コーディネータ

一職員給料の予算が計上されているというふうに変えられた後、その後のしかし、という、「しかし」は必要ないというふうに思います。いかがでしょうか。

○櫃田委員長 これについていかがでしょうか。（「委員長一任」と呼ぶ者あり）

では、ここは一任ということで委員長、副委員長で検討しますけども、そのほかはございますか。誤字脱字、文章は昨日練りに練りましたので、あまりないと思いますが。

よろしいですか。

それでは、ここで暫時休憩といたします。再開を１０時１５分といたします。

〔休 憩〕

○櫃田委員長 予算審査特別委員会を再開します。

予算審査特別委員会意見案が出来上がりましたので、全文読み上げます。

全般、今定例会において、令和７年度病院事業会計の給与不足分について、補正予算が提案された。その提案時期の遅延を重く受け止め、議会として附帯決議を行ったところである。予算は編成して終わるものではない。令和８年度予算の執行に当たっては、一貫して予見可能性を高めるとともに、精緻な予算管理をすべきである。

２、一般会計、地域づくり推進課、タウンズネット管理運営事務。にちなん・つながるアプリは令和６年度からの実証実験を経て、令和７年度にアンケート報告書が取りまとめられた。しかし、報告書の内容を精査、分析し、その結果を次期計画にどう反映させるかという検討が十分に行われていない。分析が不十分なまま令和８年度に１８７万円の計画策定委託料を予算計上することは、順序が逆である。まずは、徹底した現状分析を行うことが先決である。

農林課、農業後継者育成対策事業。産業振興センター委託料において、担い手の育成確保の新たな取組や有機農業の推進を担う農業人材コーディネーター職員給料の予算が計上されている。しかし、人材が確保できていないことから林業アカデミー教諭を配置転換したいとの説明であった。事業の目的や役割を踏まえると、安易な雇用となることを懸念する。担い手対策は、本町農業の将来を左右する重要施策であることから、事業目的に合致した人材確保と体制整備を強く求める。

教育課、教育施設営繕改良事業。令和７年度に小・中学校のネット接続に不具合が発生したことから、ネットワークアセスメント調査２５８万５，０００円が実施された。その結果、通信機器等には問題は見られず、中海テレビ放送と役場を結ぶネットワーク回線の容量不足によるボトルネックが原因ではないかとの報告がなされた。令和８年度には小・

中学校ネットワーク高速化委託料 99 万円が予算要求されており、回線を 1 ギガ b p s から 10 ギガ b p s へ増強することであるが、ネットワークの基幹であるタウンズネット事業の主管課である地域づくり推進課と十分に協議を行い、確実な改善を図られたい。

事業会計、病院事業会計、日南病院。病院事業費用、日南病院の特別職給、事業管理者の給与費が 596 万円から 750 万円と大幅に増額される予算となっている。このたび条例を制定し、高度な専門的知識や経験と優れた識見を有する者を事務職員として採用するとともに、事業管理者の給与については近隣病院の水準に合わせるとの説明であった。しかし、病院の建て替えを控え、資金面において課題を抱えている状況にあり、この時期における大幅な給与増額については疑問を禁じ得ない。よって、特別職給の増額については、その必要性や妥当性について十分な説明を行うとともに慎重な対応を求める。以上です。

よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

では、これで審査意見を提出したいと思います。

そのほかございますか。

荒木博委員。

○荒木委員 私は、一般会計の地域づくり推進課において提案されているタウンズネット管理運営事務について、修正案を提出したいというふうに考えております。（「賛成」と呼ぶ者あり）

これについてはいかがでしょうか。

○櫃田委員長 荒木博委員。

○荒木委員 この修正案を作成するための日にちを求めます。

○櫃田委員長 それでは、作成するために少し日にちがいると思いますので、3月18日に行いたいと思いますが、いかがでしょうか。（「賛成」と呼ぶ者あり）

では、討論、採決も3月18日に行いたいと思いますので、本日はこれで予算審査特別委員会を終了いたします。お疲れさまでした。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和            年            月            日

委員長

副委員長